

2月職員 自己評価(目標・方策・評価)

		評価(1～5段階)					AVL.
		1	2	3	4	5	
保育・教育の在り方	○子どもが、目と目を合わせて返事ができるようにしている。		2	2	5	13	4.3
	○子どもが、目と目を合わせながら挨拶ができるようにしている。		2	3	5	12	4.2
	○子どもの声に耳を傾けて、子どもが十分満足する保育を創っている。			3	16	2	4.0
	○子どもの言葉だけでなくその子なりの表現で伝える姿を認め、対応している。			5	12	4	4.0
	○子どもにとって様々な経験や遊びを提供し、発想力や自立心を養っている。		1	6	10	4	3.8
	○一人ひとりの発達段階に応じて待ったり声を掛けたりしている。		1	3	6	11	4.3
	○子どものやりたいに心を配り、安心できる保育を行っている。			4	9	8	4.2
	○その子がそのらしく生きようとする姿を認めているか。			3	5	13	4.5
	○子どもの思いを十分にくみ取り、その思いを受け入れた保育となっている。			7	9	5	3.9
	○子どもが自ら育っていけるよう、子どもの思いに共感し、代弁し、対話し、時には手本を示したり、選択肢を与えたり配慮をしているか。			2	11	6	4.2
保育の計画性	○発達に応じた活動を年間計画を基に実施している。	1	1	5	8	3	3.6
	○保育実践をミーティング等でクラスごとに振り返っている。	1		5	5	9	4.1
保育者としての姿勢義務	○コンプライアンスに遵守し、職務を遂行している。			2	5	15	4.6
	○自分に任せられた仕事を、責任を持って担っている。		1	4	7	10	4.2
研修	○研修に積極的に参加しようとしている。	1	2	8	7	4	3.5
	○様々な専門書や文献を普段から活用し、質の向上に努めている。		4	10	6	2	3.3
地域との関わり	○地域や学校等の連携や関係づくりに努めている。	4	6	4	6	1	2.7
保護者対応	○子どもの様子をわかりやすく、保護者に日々伝えている。	1		7	3	10	4.0
	○保護者の声に耳を傾け、親身に対応している。			3	9	10	4.3
	○保護者対応の際、丁寧な言葉を用いて話しかけている。情報は口外していない。			1	5	16	4.7
	○保護者からの要望に対して、その場で判断できないことは上司に報告している。				8	14	4.6
	○保護者に支援や協力が必要な場合は、上司に相談し、具体的な支援方法等をクラスで共有のうえ行っている。				8	12	4.6

(高得点)

- ・今回も子ども一人ひとりとよく向き合い、その子に応じた保育を丁寧に行っている。
- ・今回も保護者の声にも親身に耳を傾け、家族にも寄り添う保育をみな行っている。
- ・知り得た情報は口外しないという強い意志を持って対応している。
- ・わからないことや悩み事を上司と共有し、話し合いながら保育を進めている。

(低得点)

- ・今回も前回同様に地域や学校への関係づくりに鈍さが見られる。特定の幼小の関係は6校園で面識ができるが、当園は、方々の小学校に入園するため、関係づくりが難しい。
- ・園のある地域に子どもがほとんどおらず、別の幼稚園等に通っているため交流が難しい。地域の連絡会等にできるだけ参加しているが、認知度は低い。地域住民と面識を持ち、意識してもらえようとし、信頼関係を構築していきたい。